第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート 評価対象年度 令和元年度

施策コー	·ド	122	施策	市民参画・	協働の推進					
管理事業	*	広聴	 事業				2	枚のう	ち	1 枚目
	事業名		所管室課		■ 事業概要(事業の具	体的な内容を逆的	-== 1 \			実施区分
1) ;	法律相談		市民総務室	題について 時間:1人3	と金曜日の13:00~16:0 の法律上の相談を受けて の分以内、定員:1日当たり	30に、弁護士が日常生 ている。 J21人又は14人	生活に起因		市が	独自に実施している事務
決算額(事業費)		価の視点 一ズ、社会的役割		1体の課題や対応状況					今後の 方向性
令和 万 9.0	(千円)	■ 有効性 一 対率性 日 対系を 日 対続可		しの中の様々 るところであり えにくい。今後	超える申込みも多くありな問題解決のため、針 、法律相談を利用した とも利用率の向上を図	ト護士からのアドバ <i>・</i> :いと考える市民ニー	イスは大し ーズが減り	いに参考と りするとは	:な :考	継続
9,0	720	※課題がある		い。						
	事業名		所管室課		事業概要(事業の具	体的な内容を端的に	に記入)			実施区分
② 登訂	記・測量相	談事業	市民総務室	の登記、分筆	日に司法書士が、第3月曜日 ・、測量等に関する諸問題に 6:30で1人30分以内、定員:	ついて、専門家の立場か	ら相談を受け	けている。時		独自に実施し ている事務
決算額 (3	事業費)	三 吉尼二	価の視点 ーズ、社会的役割	事業自	体の課題や対応状況	・施策推進への貢	献に関する	る課題		今後の
令和 元 15	(千円)	■ RCH ■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続する ※課題がある	能性	き、悩みごとの える。 高齢化が進み	ところに相談窓口があ)早期解決の一助にな ・相続事案に係る相談 行いながら、事業を継	っており、市民二一 は今後も増えると考	·ズは依然 きえられる	高いもの	と考	<u>方向性</u> 継続
	車要力		所管室課		車業無典/車業の目/	大的大中深去岸的[-=3 1 \		•	里板区八
	事業名		別官主味	毎月第2木	事業概要(事業の具 曜日は司法書士、第4木			告金問題		<u>実施区分</u> 独自に実施し
③ 多	重債務相詞		市民総務室	日当たり6.				正貝∶Ⅰ		ている事務
決算額(事業費)		^፲ 価の視点 一ズ、社会的役割		日体の課題や対応状況				#B 亡	今後の 方向性
令和 万	T 年度	■ 有効性		される中では	別加傾向の中、今後も多 、事業の実施意義が薄	れることはなく、市				
	(千円)	□ 効率性□ 公平性			ハうことは、有効なこと	である。		. 0 511	_ 📾	継続
47	70	- +± 4± -T	الناد ماداد			ドイ タ舌信扱な物	1			
47	70	■ 持続可 ※課題がある		の周知が必要		じて、多重債務を抱	える市民・	へのよりー	眉	
47		■ 持続り ※課題がある	ものは■		である。			へのより-		
47	事業名			の周知が必要	である。 事業概要(事業の具の の要望、意見、問合せ、苦情等を	体的な内容を端的 文書、電話、電子メール、 3	に記入) 窓口等で受付!	け、その内		実施区分
		※課題がある	ものは■ 所管室課 市民総務室	の周知が必要 市政について 容を「市民の」 もに、必要に同い 豊富な再任用	事業概要(事業の具の 事業概要(事業の具の の要望、意見、問合せ、苦情等を 処理カード」等で所管所属に回 にで「市民の声」を施策や事業 職員等による来庁者への総合家	体的な内容を端的「 主文書、電話、電子メール、「 付する。所管所属は文書等 こ反映している。また、平成 民内(コンシェルジュ)を行って	こ記入) 窓口等で受付け で申出人へ回 29年度からは ている。	け、その内 日答するとと 、行政経験	市が	独自に実施している事務
	事業名の声・相談	※課題がある	ものは■	の周知が必要 市政について。 容を「市民の声もに、必要に成 豊富な再任用 事業自	事業概要(事業の具の 事業概要(事業の具の で要望、意見、問合せ、苦情等を 処理カード」等で所管所属に回 いて「市民の声」を施策や事業 職員等による来庁者への総合第 国体の課題や対応状況	体的な内容を端的」 主文書、電話、電子メール、 付する。所管所属は文書等 こ反映している。また、平成 は、ロンシェルジュ)を行って ・施策推進への貢	に記入) 窓口等で受付! で申出人へ回 29年度からは ている。 献に関する	け、その内間答するとと、行政経験	市がて	独自に実施し
④ 市民の決算額(令和 元	事業名 の声・相談: 事業費)	※課題がある 案 内 事	前で室課 市民総務室 ・一個の視点 ・一ズ、社会的役割 ・能性	の周知が必要 市政について 容を「市民の月 もに、必要に用 豊富な事業官 市民から応えると さして対と考えを ていると考えを シェルシュンを から「ありがとき	事業概要(事業の具代の要望を見います。 1 である。 事業概要(事業の具代の要望を見います。 1 ではまた。 1 ではまた。 1 ではまた。 1 ではまた。 1 ではまた。 1 では、 1	本的な内容を端的I i文書、電話、電子メール、 付する。所管所属は文書等 に反映している。また、平成 にか(ロンシェルシュ)を行っ ・施策推進への貢信 いる中で、担当職員は 関談を案内すこと 経験豊富な再任用職 丁寧、的確な応対をそ	こ記入) 窓口等で受付けで申出人へのこの事でを付けている。 就に関する。 では、以内解説のでは、一般に関する。 では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	け、その内 記答するとと、 行政経験 る課題 と整理し、行 を と の一案内(多くの来庁	市がて 政のつ 者	独自に実施している事務 今後の
④ 市民の決算額(令和 元	事業名 の声・相談: 事業費) 元 年度 (千円) 6	案 内	前で室課 市民総務室 ・一個の視点 ・一ズ、社会的役割 ・能性	の周知が必要 市政について 容を「市民の戸 もに、必再任用 事業目 市民からの相記 として対応考える シェルジュ」を	事業概要(事業の具代の要望を見います。 1 である。 事業概要(事業の具代の要望を見います。 1 ではまた。 1 ではまた。 1 ではまた。 1 ではまた。 1 ではまた。 1 では、 1	本的な内容を端的I i文書、電話、電子メール、 付する。所管所属は文書等 に反映している。また、平成 にか(ロンシェルシュ)を行っ ・施策推進への貢信 いる中で、担当職員は 関談を案内すこと 経験豊富な再任用職 丁寧、的確な応対をそ	こ記入) 窓口等で受付けで申出人へのこの事でを付けている。 就に関する。 では、以内解説のでは、一般に関する。 では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	け、その内 記答するとと、 行政経験 る課題 と整理し、行 を と の一案内(多くの来庁	市がて 政のつ 者	独自に実施し にいる事務 今後の 方向性
④ 市民の決算額(令和 元	事業名 D声·相談: 事業費) T 年度 (千円)	※課題がある 案 内 事	前で室課 市民総務室 ・一個の視点 ・一ズ、社会的役割 ・能性	の周知が必要 市政について 容を「市民の月 もに、必要に用 豊富な事業官 市民から応えると さして対と考えを ていると考えを シェルシュンを から「ありがとき	事業概要(事業の具代の要望を見います。 1 である。 事業概要(事業の具代の要望を見います。 1 ではまた。 1 ではまた。 1 ではまた。 1 ではまた。 1 ではまた。 1 では、 1	体的な内容を端的「 文書、電話、電子メール、 付する。所管所属は文書等 「反映している。また、平成 は内(コンシェルジュ)を行って ・施策推進への貢 いる中で、担当職員は 門相談を案内すること 怪験豊富な再任用職 丁寧、的確な応対を行 いただくなど好感を得	こ記入) 窓口等で受付時で で申出人へ回 29年度からは ている。 献に関する。 村で製期容 で早期解る。 で早による、、 でおり、事業	け、その内 回答するとと 、行政経験 る課題 を整理し、行 快の一助とご 総合案内(多くの来庁 を継続す	市がて 政のつン者 必	独自に実施している事務 今後の方向性 継続
(4) 市民(0 決算額(1 令和 元	事業名 の声・相談: 事業費) 元 年度 (千円) 6	案内事業 評二性性 日本 の	前で室課 市民総務室 市民総務室 ・	の周知が必要	事業概要(事業の具で 万要望意見、問合せ、苦情等表 近要型を見、問合せ、苦情等表 地理力・一ド等で所管所属に回 むて行市民の声と施策や事業 議員等による来行者の総合第 3体の課題や対応状況 に内容も多種多様化してしない部分については、専 平成29年度から、行政終 流し、市民目線で親切、 。」などの感謝の言葉をし 考える。	体的な内容を端的「 文書、電話、電子メール、 行文書、電話、電子メール、 行文書、電話、電子メール、 で表している。また、平成 を行っていまり、と行って ・施策推進への貢 いる中で、担当職員は 門相談を案内すること 経験豊富な再任用職 で事、的確な応対を行っただくなど好感を得 本的な内容を端的「 へ、来庁者へ目的	こ記入) 窓口等で受付した 20年度をでき出入へ回 20年度からは て献した。関する 相談内容を がいたに関する ででいる。 でいる。 ではい。 ではい。 ではい。 ではい。 ではい。 ではい。 ではい。 ではい	け、その内内でするとと、 行政経験 と整理し、行政経験を一般の一案内(庁を)をくの来すす。	市がているのでは、一方ない方のでは、一方ない方のでは、一方ない方面では、一方ない方面では、一方が、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では	独自に実施している事務の方向性継続
(4) 市民(0 決算額(1 令和 元 4	事業名 か声・相談 事業費) 元 年度 (千円) 6 事業名	※課題がある 業	前で室課 市民総務室 価の視点 ーズ、社会的役割 能性ものは 所管室課 市民総務室	の周知が必要 市政について容を「市との再報にの関係を有事の相談を再発性用事のにの対象の方式を表して対とよっ」があるものと 下行行う。事業には、ののでは、ののできる。として対とよっから「あるものと」があるものと	事業概要(事業の具の要素の具の要素を見ている。) 事業概要(事業の具の要素を見ている。 ではて「市民の声」を施策や事業にはて「市民の声」を施策や事業を関係の課題や対応状況(内容も多種多様化してしいては、専工の29年度から、行政経済にあり、市民目線で親切、。」などの感謝の言葉をは考える。	体的な内容を端的に文書、電話、電子メール、 付する。所管所属は文書等に元級している。また、平成 た内(コンシェルジュ)を行って、 ・施策推進への貢 ・施策推進への貢 ・相相談を本再任用職員 で、担当職員は と経験豊富な再任用職員 丁寧、的確な応対を行 いただくなど好感を得 体的な内容を端的 、て、来庁者へ目的	に記入) 窓口等で受けて申出人のは、 で専門人のは、 で等している。 献に関する。 は、相談中期にといる。 は、相談中期にといる。 で等にといる。 で等にといる。 でのである。 に、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは	け、その内とと験、行課題し、行来の合とを映め合の条件を必要を継続する。	市がてていますがいます。市がでは、日本のでは、日	独自に実施している等の方は、大学のでは、一般では、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の
(4) 市民(0 決算額(1 令和 元 4	事業名 の声・相談 事業費) 一 年度 (千円) 6 事業名 庁舎案内 事業費) 一 年度	※課題 事 市有効公持がある 民効率に対対のでは、	前で室課 市民総務室 「他の視点 一ズ、社会的役割 「能性ものは」 「所管室課 市民総務室	の周知が必要 市政にに市民の戸に市民の戸に市民の戸に市民の戸に市と東にの東軍 のにえるとうにの事事 のにあるシンのとのであるとうとのであるとうとのであるとうとのであるとうとのであるとうとのである。 東京の	事業概要(事業の具である。) 事業概要(事業の具での要望、意見、問合せ、苦情等を発達の事態を施策や事業の関係をはる来行の表質、表表の事態を指している。) 「大阪の容も多種多様化しては、部分については、専門成29年度から、行政経済に、不良目線で、開始し、市民目線で、新りなどの感謝の言葉をし、方などの感謝の言葉をし、方などの感謝の言葉をしまる。」などの感謝の言葉をしまる。	体的な内容を端的[こ記入) の窓口等でき出人のとは、	け、その内とと、 でする経験 題 上、行、といる 主整 一 助 実 の 一 家 来 が 一 余 来 が ウンケー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市がていまるのでは、一直では、一直では、一直では、一直では、一直では、一直では、一直では、一直	独自に実施している等の方向性とは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に
(4) 市民(0 决算額(1 令和 元 4 (5) 」 決算額(1	事業名 の声・相談: 事業費) 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	※課題がある 業 計二性性可る 民効率 作有効公持がある 民効率に行る 民党 市有対 に対しています。 第二性性可る 民党 大学 は 東京 は 東	・ 所管室課 市民総務室	の周知ががいたのでは、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部	事業概要(事業の具行 万要望意見、問合せ、苦情等表 位理力・ディア語で所管所属に回 にて「市民の声」を施策や事業 議員等による来行者の総合第 3体の課題や対応状況 に内容も多種多様化してしない部分については、専 平成29年度から、行政は 流し、市民目線で親切、 。」などの感謝の言葉をし 考える。 事業概要(事業の具 面玄関と西玄関におい は体の課題や対応状況 は、おい部分については、専 ・ 平成29年度から、行政は まった。 まった。 事業概要(事業の具 面玄関と西玄関におい は、な関受付カウンター、	体的な内容を端的[こ記入) の窓口等でき出人のとは、	け、その内とと、 でする経験 題 上、行、といる 主整 一 助 実 の 一 家 来 が 一 余 来 が ウンケー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市がていまるのでは、一直では、一直では、一直では、一直では、一直では、一直では、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直には、一直に	独自に実施している等の方は、大学のでは、一般では、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の
(4) 市民(0) 決算額(1) 令和 元 4 (5) 」 決算額(1) 令和 元	事業名 の声・相談 事業費) 元 年度 (千円) 6 事業名 「テ舎案費) 元 年度 (千円) (69	※	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の周知ががいた。 市とてリンカ要 市としてリンカをがまる。 市とてリンカをがある 市内 事 内にらった 事 下にいる 一方 事 内にらった 事 下にいる 一方 事 下にいる アンド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業概要(事業の具での要望、意見、問合せ、苦情等を収望力・デジャで所管所属に回いて「市民の声」を施策や事業の機関・はない部分については、い部分については、い部分については、平成29年度から、行政総に、市民目線で親切、ありなどの感謝の言葉をしまったの感謝の言葉をしまったの感謝の言葉をしまった。	体的な内容を端的「 文書・電話・電子メール、 付する。所管所属は文書等が に成している。また、平成 に内(ロンュルジュ)を行う。 ・施策推進への 門相談でを案内を出り 門相談でを案内を日 門相談でを変更のを必要が でしただくなどがである。 体的な内容を端的「 いて、来庁者へ目的 ・施策推進への貢 で、来庁者のより で、来庁者のより で、来庁者の目的 ・施策推進への ので、来庁者の目的	こ記入) (付きできた) (でき出人) (付きできた) (できまた) (できない)	け、その内とと、 でする経験 題 上、行、といる 主整 一 助 実 の 一 家 来 が 一 余 来 が ウンケー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	市がではいまるがです。一番で市ができます。	独い 今方 継 医に事後向 統 タケ 実務の性 といる 今方 継 区に事後向 統 はいる 今方 継続 はいる 今方 継続
(4) 市民(0 決算額(1 令和 元 4) (5) 」 決算額(1 令和 元 4,7	事業名 の声・相談: 事業費) 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	※課題 事 市有効公持がある 業 計二性性性可る 民効率平続ある 民効率平続ある 民効率平続ある 民効率平続ある 民効率平続ある 民効率がある はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいか	・ 所管室課 市民総務室	の周知が必要では、「一個では、「一個では、「一個では、」」では、「一個では、「一個では、」」では、「一個では、「一個では、」」では、「一個では、「一個では、」」では、「一個では、「」」」が、「一個では、「一個では、「」」」が、「」」が、「」」が、「」」が、「」」が、「」」が、「」」が、「」	事業概要(事業の具) 原聖 意見、問合せ、苦情等を 原聖 意見、問合せ、苦情等の 原理型から、持定の声は施策や事業の 職人等による来題や対応状況 (内容も多種多様化してしない部分については、専院 変更、変更で対応な、 にない部分については、専門 変に、市民目線で親切を またし、市局は の感謝の言葉をしまる。 事業概要(事業の具) はいのまたで親切を またし、市民制線で表現した。 事業概要(事業の具) はいのまたで親切を またし、市民の感謝の言葉をしまる。 事業概要(事業の具) はい方との感謝の言葉をしまる。 事業概要(事業の具) は、たったの声を、いる。	体的な内容を端的[(文する。電話、電子属は文書等は こ反映している。また、平市の に対する。また、平市の のので、担当職員にな書等は で、担当職員になる で、担当職員になる で、担当職員になる で、担当職員になる で、担当職員になる で、おって、担当職員になる で、おって、担当職員になる で、おって、担当職員になる で、おって、といる。 で、など好感を得った。 で、本的ないのでを端さる で、来内にいる。 で、来内にいる。 で、来内にいる。 で、来内にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、来方にいる。 で、またい。 で、	こ記をできた。関するには、	け、その内とと ・ に	市がではいまる。市で市ではいるでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、	独自に実施している等の方向性とは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に
(4) 市民(0) 決算額(1) 令和 元 4 (5) 」 (5) 」 (6) 4	事業名 の声・相談 事業費) 「	※課題がある。 業 評二性性性可る 関三性性性可る 関三性性性可	### ### #############################	の周知が必要では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部	事業概要(事業の具代の要素の具質を対している。) 事業概要(事業の具質を見ている。) 事業概要(事業の事態を関係を対している。) では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	体的な内容を端的に 大き。駅間に関する 電影、電子メール、 は大き。駅間になき等に に成映している。また、平ので に対している。また、平ので が高いまた、平ので が高いまた、平ので でを案内すること とを験い高なな好感を得いただくなど好感を得いただくなど好感を得いた。 本的な内容を端さられている。 ので、来内にいる。 ので、来内にいる。 ので、来内にいる。 ので、来方にいる。 ので、またい。 ので、またい。 ので、またい。 ので、またい。 ので、またいる。 ので、またいる。 ので、またい。 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	このでは、	け、その内としい で、する経験 で、で、は、で、は、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	市がではいまる。市で市ではいるでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、一方ないでは、	
(4) 市民(6) (4) 市民(7) (5) (5) (6) (6) (7) (6) (7) (7) (8) (9)	事業名の声·相談: 事業費) 「	※課題 事	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	の周 市とてシカ要 市とてシカ要 市とてシカック 一下日 相きる きっとと 下を 事 内にらに 本立か事 でに かっか かがらが 市内 宇宙 中で	事業概要(事業の具) 原報 意見、問合せ、苦情等を の要報 意見、問合せ、苦情等を 心要型からずで所管所属に回いて「市民の声」を施策や事務に にて「市民の声」を施策や可応状で、 にない部分にですたけでは、いかのでもので、現では、 のでは、平成29年度から、行切、 のはなどの感謝の言葉をしまる。 事業概要(事業の具) はない部分に対かした。 ではない部分に対し、 にはない。 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	体的な内容を端的に 大文書・電影画は文書等に 電影・電子展出文書等は 「大学者・の所管・また、そ行う」 「本のでも、また、と行う」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する。 「本のでをでいる。 「本のでを変する。 「本のでを変する。 「本のでを変する。 「本のでを変する。 「本ので、 「で、 「でも、、 どこで、 「でも、 「でする。 「	このでは、	け、そうな経題 し、からと終めるを かっとり は でいった は と いっち に から と いっち に から に から に で いっち に	市では「一番を一番で市では、一番でです」では、「一番でです」では、「一番では、」では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、」」では、「一番では、」」では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、」」では、「一番では、「一を、「一を、」」は、「一を、「一を、」」は、「一番では、「一を、「一を、「一を、」」は、「一を、「一を、」」は、「一を、「では、「一を、」」は、「では、「では、「では、」」は、「では、「では、	独い 実 独い 実 独い 大
(4) 市民(0) 決算額(1) 令和 元 4 (5) 」 (5) 」 (6) 4	事業名の声·相談: 事業 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	 ※	### ### ### ### #### ################	の周 市とてシカ要 市とてシカ要 市とてシカック 一下日 相きる きっとと 下を 事 内にらに 本立か事 でに かっか かがらが 市内 宇宙 中で	事業概要(事業の具) 原報。意見、問合性・苦情等の 原報。意見、問合性・苦情等の 原理型から洋で所管所属に同意にで「市民の声」を施策や事を指 機関等のでも対している。 はい部分に対している。 はい部分に対している。 が、平成29年度から、税助の にはいの感謝の言葉を ありなどの感謝の言葉を 事業概要(事業の具) はない部分に対し、 にはなの感謝の言葉を ありなどの感謝の言葉を を表している。 事業概要(事業の具) なり、たったのに、おる。 本の課題や対応状況、、 なり、たったのに、まる。 本の課題や対応ないる。 は法人等のといる。 は法人等のに、おる。 をのは、からに、まる。 をのは、からに、まる。 をのは、まる。 をした。	体的な内容を端的に 大文書・電影画は文書等に 電影・電子展出文書等は 「大学者・の所管・また、そ行う」 「本のでも、また、と行う」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する」 「本のでを変する。 「本のでをでいる。 「本のでを変する。 「本のでを変する。 「本のでを変する。 「本のでを変する。 「本ので、 「で、 「でも、、 どこで、 「でも、 「でする。 「	このでは、	け、そうな経題 し、からと終めるを かっとり は でいった は と いっち に から と いっち に から に から に で いっち に	市では「一番を一番で市では、一番でです」では、「一番でです」では、「一番では、」では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、」」では、「一番では、」」では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、「一番では、」」では、「一番では、「一を、「一を、」」は、「一を、「一を、」」は、「一番では、「一を、「一を、「一を、」」は、「一を、「一を、」」は、「一を、「では、「一を、」」は、「では、「では、「では、」」は、「では、「では、	性 自 は に 事 後 向 に 事 後 向 は を に 事 後 の 性 を に 事 後 の 性 を に 事 後 の 性 を に 事 後 の を に 事 後 の を に 事 後 の を に 事 後 の を に あ を の を に あ を の を に あ を の を に あ の を の の の を の の を の の を の の を の の を の の の の の の の の の の の の の
(4) 市民(6) (4) 市民(7) (5) (5) (6) (6) (7) (6) (7) (7) (8) (9)	事業名の声·相談: 事業費) 「	 ※	### ### ### #### ####################	の市とてシか要市の庁民国場有総市とてシか要市の庁民市容をに認すのである。 中の対ととうがある市を 舎的かー 一方目者サークの合効務一方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の方の	事業概要(事業の具) 原報。意見、問合性・苦情等の 原報。意見、問合性・苦情等の 原理型から洋で所管所属に同意にで「市民の声」を施策や事を指 機関等のでも対している。 はい部分に対している。 はい部分に対している。 が、平成29年度から、税助の にはいの感謝の言葉を ありなどの感謝の言葉を 事業概要(事業の具) はない部分に対し、 にはなの感謝の言葉を ありなどの感謝の言葉を を表している。 事業概要(事業の具) なり、たったのに、おる。 本の課題や対応状況、、 なり、たったのに、まる。 本の課題や対応ないる。 は法人等のといる。 は法人等のに、おる。 をのは、からに、まる。 をのは、からに、まる。 をのは、まる。 をした。	体的な内容を端内に で文書、所管所の。また、平行で に対していまれば、主等、 は内(ロンシュルジュ)の の相に のでを表す。 ので、来 がいたが、本 のので、	こ窓では、相で員うでは、 こ窓では、相で員うでは、 でのでは、 でのでは、 でので等にでいるでは、 でのでのでのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのででででででででででででででででででででででででででででででででででで	け、そうな 題 し、	市 政のつ者必 市 者変市 市 いよ	
(4) 市民(6) (4) 市民(7) (5) (5) (6) (6) (7) (6) (7) (7) (8) (9)	事業名の声·相談: 事業 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	 ※	### ### ### ### #### ################	の	事業概要(事業の具) 原型 意見、問合性、苦情等の 原型 意見、問合性、苦情等の 原型 定見、同合性、苦情等の 原型 定見、同合性、苦情等の 原型 定式・市民の声序を施への総状況 にて「市民の声を施への総けない。 (本の課題や多様化し、下政 はない部分として、行政、 のまた、平成との事と目線で言 事業概要(事業の具) はない部分として、親い による。 事業概要(事業の具) はない部分として、現が、 のはない。 事業概要(事業の具) はないまの、 事業概要(事業の具) はないまの、 はないまの、 事業概要(事業の具) は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	体的な内容を端内に で文書、所管所の。また、平行で に対していまれば、主等、 は内(ロンシュルジュ)の の相に のでを表す。 ので、来 がいたが、本 のので、	こ窓では、相で員うでは、 こ窓では、相で員うでは、 でのでは、 でのでは、 でので等にでいるでは、 でのでのでのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのででででででででででででででででででででででででででででででででででで	け、そうな 題 し、	市 政のつ者必 市 者変市 市 いよ	性 自 は に 事 後 向 に 事 後 向 は を に 事 後 の 性 を に 事 後 の 性 を に 事 後 の 性 を に 事 後 の を に 事 後 の を に 事 後 の を に 事 後 の を に あ を の を に あ を の を に あ を の を に あ の を の の の を の の を の の を の の を の の を の の の の の の の の の の の の の

事業名	所管室課	事業名	所管室課
一般事務事業	市民総務室		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート 評価対象年度 令和元年度

施策=	コード		122		施策	市	民参画∙協働	の推進							
管理事	業			広聴	事業						2	枚のう	ら	2	枚目
	=	業名			所管室課		事等	業概要(事業の	旦体的な内容	マを端的に	記入)			実施	区分
⑦市		・タリン・ 業	グ調	査事	市民総務室		市民参画のまち	づくりのため、市 平成19年度(200	民の意見を伺し	い、その声を	市政に		市が		に実施し
決質:	額(事業	坐 費)			価の視点		事業自体の	D課題や対応状	₹況・施策推進	生への貢献	に関す	る課題			後の
令和	元	年度		市民二 有効性 効率性		芸術		年度)は、環境 など、56項目に						- た	前 向性
	_	(千円)		公平性 持続可			効果的に市民(考える。	の声を反映する	るために、調査	査票の回収	率を上	げることか	徱	á	継続
	<u></u>	事業名			所管室課		主主	業概要(事業の	旦休的な内容	でを端的に	≣ 7 X)			実施	文分
8 市民意識調査事業			市民総務室	á K U	総合計画の進行管理・ 料として活用するとともいるかを把握し、市民・ 調査を実施している。	や、同計画の基本計画 に、快適で暮らしやす のニーズを市政に反映	ではするに向けての でいまちづくりを促進 ですることを目的とし	諸課題の分析なであるため、市民では、昭和53年度	ビ、市政運 が何を考え (1978年度)	営の基礎資、何を求めて から4年毎に			に実施し		
決算	額(事業	業費)			価の視点 一ズ、社会的役割			D課題や対応状	∜況∙施策推進	≛への貢献	に関す	る課題			後の
令和	元	年度		有効性 効率性		目に	わたり市民2,0	年度)は、住まし 100人を対象に	調査を実施し	た。					前性
	-	(千円)		公平性 持続可 ^{題がある}			効果的に市氏(考える。	の声を反映する	うために、調金	11年の回収	(平を上)	けることか	\誅	វិ	継続
	<u> </u>	¥ 業名			所管室課		車当	業概要(事業の	目体的が内を	でを送めて	<u> </u>			実施	文分
	7	F Ж 11			加自主味		T 2	大阪女 (于 木 の)	7 P P P P P P P P P P P P P P P P P P P	1 5 4 M H 11 C				大心	<u>~</u> /J
9															
決算	額(事業	業費)		市民二	価の視点 一ズ、社会的役割		事業自体の)課題や対応状	₹況・施策推進	生への貢献	に関す	る課題			を後の 可向性
令和	元	年度		有効性 効率性											
		(千円)		公平性 持続可 ^{題がある}	能性										
	3	事業名			所管室課		重当	業概要(事業の	目体的が内の	でを誤的に	≣ ⊒ X)			実施	区分
	7	F Ж 11			加自主味		Ŧ2	大阪女 (于 木)	71 140 CHAN 22	1 5 4 M H 11 C				大心	<u>~</u> /J
10															
決算	額(事業	業費)			価の視点 一ズ、社会的役割		事業自体の	D課題や対応状	∜況∙施策推進	生への貢献	に関す	る課題			後の
令和	元	年度		有効性).	<u>有性</u>
la 4.H	76	(千円)		効率性 公平性											
		(112)		持続可											
	7	一举力		0, 0			5. 4	を 横田 / 市 乗 か	目体的长束	5去;2551-	= 3 7 \			中坎	⊽ ∆
	Ŧ	¥ 業名			<u></u>		争	業概要(事業の	共平的な内名	さる。	60人)			実施	△ 刀
11)															
決算	額(事業	業費)		事 早 = =	 		事業自体の	D課題や対応状	∜況∙施策推進	進への貢献	に関す	る課題	ı		後の
令和	元	年度	_	巾氏二 有効性	ーズ、社会的役割 E									<i>)</i> .	万向性
ገን ተሀ	<i>)</i> L	(千円)		効率性 公平性											
		(111)		ガーは 持続可 題がある	能性										
	3	事業名			所管室課		事業	業概要(事業の	具体的な内容	マを端的に	記入)			実施	区分
400		N H			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		H-7 1/			J~#	
12															
決算	額(事業	業費)			価の視点 一ズ、社会的役割		事業自体の	D課題や対応状	∜況∙施策推進	進への貢献	に関す	る課題			を後の 5向性
令和	元	年度		有効性										<i></i>	川川土
וין דון	76	(千円)		効率性 公平性											
	_			ガーは 持続可 題がある	能性						_				
▶記い从の不管車券 ※ 一郎東敦東衆 漂け, 鶯漂東衆 鍋中東衆 昨年市で廃止した東衆 指守祭研名制府道入旅記の祭研演営東衆などけったとに記入															

事業名	所管室課	事業名	所管室課
一般事務事業	市民総務室		